

実践記録

185

シリーズ

市民のつながりを力に、地域のあたらしい流れを創る

現在新潟県内では約630のNPO法人が活動しています。福祉や環境、まちづくりなど分野は様々ですが、その中に団体支援を目的にしたNPO法人があり、中間支援組織と呼ばれています。県内初のNPO法人として平成10年に設立された「くびき野NPOサポートセンター」は、上越市、妙高市、糸魚川市が主なエリアの中間支援組織です。「みんなのまちはみんなで創ろう!」を合言葉に、NPOを通じた市民参画型社会の実現に向けて、情報、資金などを循環し、全分野対応の支援を行っています。

1. 市民目線で情報収集・発信 NPOPRESS

地元紙「上越タイムス」の紙面をNPOが取材・編集する、全国でも珍しい協働事例です。



2. 団体がまとまって活動をPR

くびき野市民活動フェスタ

団体がお金と知恵を出し合って実行委員会を構成、15年目の今年は70団体が参加、毎年夏に盛り上がります。



ステージパフォーマンス
(ご当地アイドルと大正琴のコラボ) と子どものフリマ

3. 市民による市民活動団体のための

「にいがたNPO基金」



街頭で募金のお願い

NPO法人くびき野NPOサポートセンター

昨年度は300万円集まり14団体に助成、今年は1千万円をめざします。

4. 全分野対応のボランティアコーディネート

上越市市民プラザNPO・ボランティアセンターでは常時200件以上のボランティア情報を掲示、その場でコーディネートします。



5. 講座・フォーラムの開催

時宜を得た、団体運営に役立つ講座やセミナーを開催。時には多くの市民を対象にフォーラムも。



フェイスブック講座 (長岡会場で)



北川正恭さんを迎えるの講演会

あとがき

財源も活動内容も多様なNPOは、その多様さゆえになかなか理解されにくい存在です。でもそこには必ず、地域への熱い思いをもった人の存在があります。地域の底力をあげるために、私たちは応援を続けます。(秋山三枝子)